

## R2年3月実施ライト牧場 放課後等児童デイサービス自己評価

### ○環境・体制整備

- ・H31年4月に事業所を阿賀野市畑江に移転しました。広くなった室内で利用者さんの活動の様子を見てみると、のびのび自由に活動している。今後も利用状況を見て改善・工夫していく予定です。

### ○業務改善

- ・その日の利用者さんの様子を担当者が記録し、支援終了後や翌日のミーティングでその情報を共有し支援に努めている。また毎月スタッフ全員で全体ミーティングを行い利用者さんの様子や業務内容・改善項目について報告・連絡・相談を行い、確認・改善を行っている。
- ・職員のスキルアップのために研修の機会を増やしていきたい。

### ○適切な支援の提供

- ・利用者さんの個々の様子を把握・記録し、利用者さんの様子をスタッフ間で共有している。事業所内で解決できない時は、保護者、学校、相談員、他事業所と連絡を取り合い支援を進めている。
- ・児童発達管理責任者による半年ごとの支援計画に基づき、利用者さんに合わせた評価・モニタリング・保護者との面談を行い支援計画の見直しを行っている。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・当事業所で対応に困る事や疑問がある時には、保護者、学校、相談員、他事業所に連絡し情報共有を行っている。
- ・保護者宛には利用時の活動内容を連絡帳に記入。体調面の参考に就寝・起床時間を伺っている。対応が必要な時には保護者に直接連絡を取っている。

### ○利用者保護者等への説明責任

- ・利用希望者さんには、施設見学や利用手続きなどの説明を行なっている。また、重要事項説明書・契約書を双方で確認させていただき契約時に説明を行っている。
- ・利用者さんの個人情報施錠のできる場所に管理責任者が適切に保管している。
- ・苦情があった場合には管理者が保護者に対し説明・対応を行っている。
- ・今年度はHPに行事を掲載することが出来た。今後はお便りやSNSで活動内容を発信していきます。

### ○非常時等の対応

- ・避難訓練を年に2回実施活動計画に入れる。
- ・感染症対応マニュアルを定期的に確認している。
- ・虐待防止や身体拘束についての研修の機会を設ける。
- ・感染症への注意喚起の徹底と手洗いうがいの指導の徹底を行っている。
- ・災害時の緊急連絡先の周知徹底を行う。非難した際には総務省の災害用伝言ダイヤル(171)を利用し安否確認を親御さんが確認できるようにする。

### 総評

- ・今年度は事業所の場所を移転しました。利用者さんの様子を見ながら改善し、利用しやすいように支援を進めていく。保護者、関係機関と密に連絡を取り合い利用者さんにより良い環境、支援を提供していきます。